

2022.10.6  
研究大学コンソーシアムシンポジウム

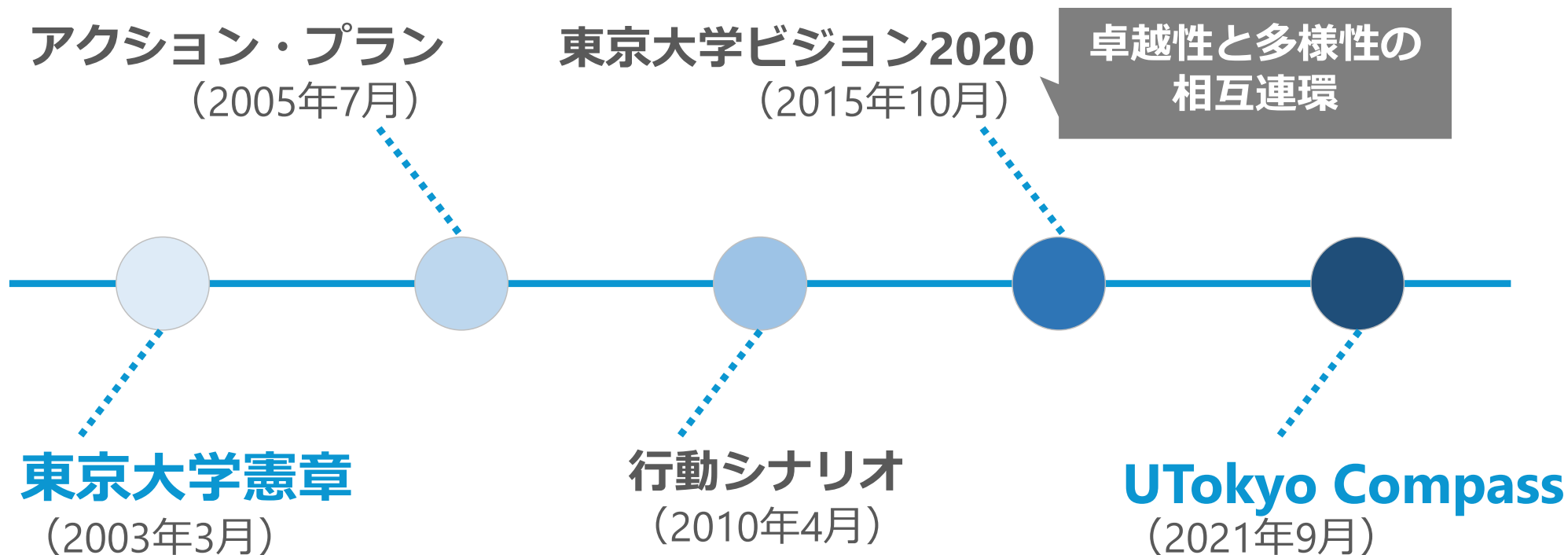


# UTokyo Compass 多様性の海へ： 対話が創造する未来

国立大学法人東京大学  
理事・副学長（研究担当）  
齊藤 延人



# 東京大学憲章からUTokyo Compassへ



東京大学憲章では多様性が理念として謳われている

## (研究の理念)

東京大学は、真理を探究し、知を創造しようとする構成員の多様にして、自主的かつ創造的な研究活動を尊び、世界最高水準の研究を追求する。

東京大学は、研究が人類の平和と福祉の発展に資するべきものであることを認識し、研究の方法および内容をたえず自省する。東京大学は、研究活動を自ら点検し、これを社会に開示するとともに、適切な第三者からの評価を受け、説明責任を果たす。

## (研究の多様性)

東京大学は、研究の体系化と継承を尊重しつつ学間分野の発展を目指すとともに、萌芽的な研究や未踏の研究分野の開拓に積極的に取り組む。また、東京大学は、広い分野にまたがった学際的な研究課題に対して、総合大学の特性を活かして組織および個人の多様な関わりを作り出し、学の融合を通じて新たな学間分野の創造を目指す。

- 対話から創造へ
- 多様性と包摂性
- 世界の誰もが来たくなる大学





# UTokyo Compass : 基本理念と3つの視点

## 基本理念

対話から  
創造へ

多様性と  
包摂性

世界の誰もが  
来たくなる  
大学

## 3つの視点 (PERSPECTIVES)

PERSPECTIVE 1

**知**を  
きわめる

PERSPECTIVE 2

**人**を  
はぐくむ

PERSPECTIVE 3

**場**を  
つくる

3つの視点が好循環を生み出すために...  
自律的で創造的な大学活動のための**経営力の確立**



# UTokyo Compass : 20の目標



経営力の確立

1. 「自律的で創造的な大学モデル」の構築
2. 持続可能な組織体としての経営戦略の創出と大学の機能拡張
3. 大学が果たす役割についての支持と共感の増進



知を  
きわめる

4. 地球規模の課題解決への取組
5. 多様な学術の振興
6. 卓越した学知の構築
7. 産学協創による価値創造
8. 責任ある研究



人を  
はぐくむ

9. 包摂性への感受性と創造的な対話力をはぐくむ教育
10. 国際感覚をはぐくむ教育
11. 学部教育：専門性に加えて幅広い教養と高い倫理性を有する人材の育成
12. 大学院教育：高い専門性と実践力を備え次世代の課題に取り組む人材の育成
13. 若手研究者の育成
14. 高度な専門性と創造性を有する職員の育成
15. 大学と社会をつなぐ双方向リカレント教育の実施



場を  
つくる

16. 安心して活動でき世界の誰もが来たくなるキャンパス
17. 教育研究活動の支援
18. サイバー空間に広がるキャンパス
19. 社会への場の広がり
20. 国際的な場の広がり



## 本日の内容

東京大学の取組とUTokyo Compassの紹介を  
多様な「**知・人・場**」× **研究強化**の観点から

1. 多様な「**知**」×研究力強化
2. 多様な「**人**」×研究力強化
3. 多様な「**場**」×研究力強化
4. 多様な「**専門人材**」×研究力強化
5. **対話から地球規模課題の解決へ**

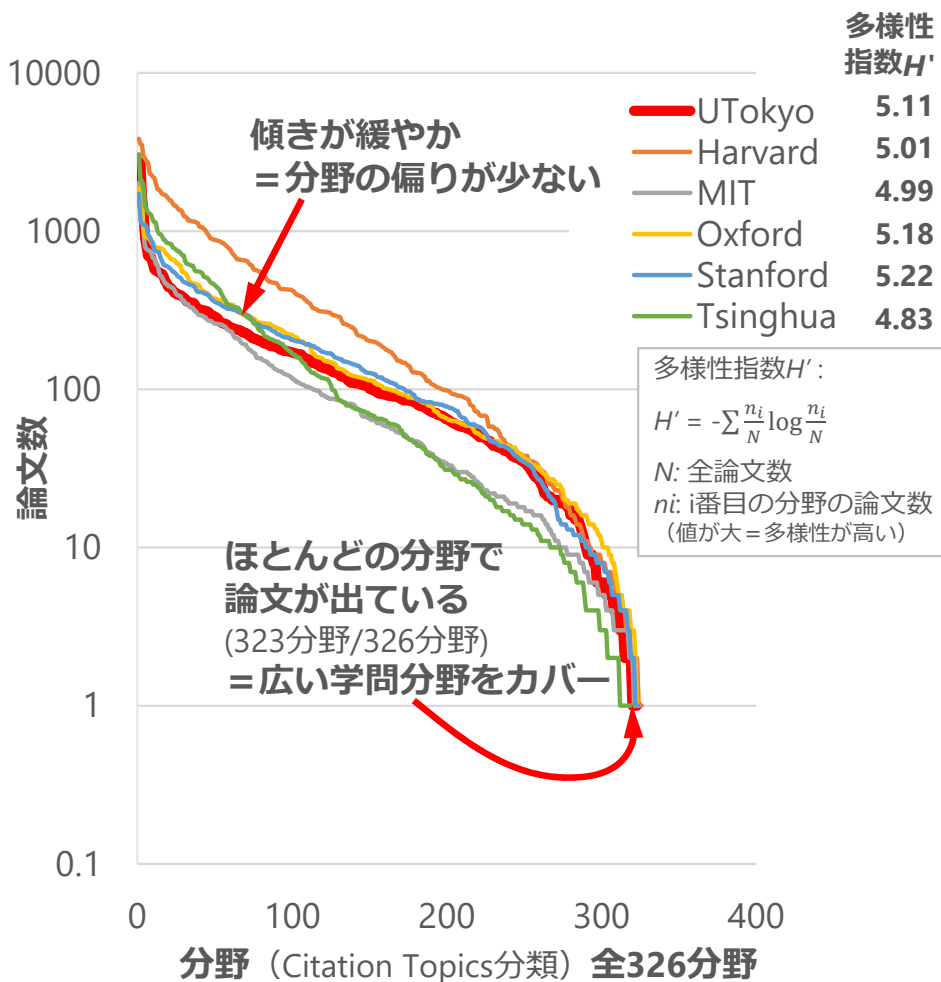


# 多様な「知」×研究力強化

## 東京大学発論文の分野の多様性

東大の論文は多様な分野に満遍なく出ている

分野別の論文の多寡のパターンは大学により異なる  
東大のパターンは海外大学とあまり似ていない



世界で論文数多い

少ない

分野名 (Citation Topics分類)	世界	日本	東大	Oxford	Stanford	Harvard	MIT	Tsinghua
4.18 Power Systems & Electric Vehicles	151965	3506	175	104	486	232	232	2077
2.62 Electrochemistry	149765	6452	373	219	756	366	948	868
4.17 Computer Vision & Graphics	140999	5746	664	480	678	541	738	2105
6.3 Management	129727	1375	151	538	271	453	336	510
2.1 Synthesis	125857	9238	629	260	298	610	215	619
4.13 Telecommunications	119549	3953	120	93	402	151	199	1419
1.7 Neuroscanning	114896	5468	658	2290	674	1626	1114	447
3.2 Marine Biology	112932	5951	901	201	263	359	536	202
7.12 Metallurgical Engineering	110463	5936	397	25	257	299	66	1137
3.16 Phytochemicals	108056	3651	122	212	30	118	44	146
3.4 Crop Science	107696	5508	696	177	66	214	144	175
1.6 Immunology	104720	6668	574	3832	772	920	1104	407
6.10 Economics	100484	2726	227	673	449	666	477	511
8.19 Oceanography, Meteorology & Atmospheric Sciences	98956	3873	799	310	753	705	382	959
8.8 Geochemistry, Geophysics & Geology	96195	5587	1313	395	468	886	681	90
4.58 Wireless Technology	95989	3946	229	151	330	98	293	958
6.11 Education & Educational Research	93568	1214	94	568	177	464	490	117
4.29 Automation & Control Systems	92167	2539	168	96	424	151	155	1180
1.44 Nutrition & Diagnostics	89573	3305	290	2872	82	761	922	69
4.48 Knowledge Engineering & Representation	87713	2766	242	366	519	468	348	1311
2.67 Nanoparticles	86928	2901	247	305	259	100	276	557
2.74 Photocatalysts	86553	4068	280	39	80	56	119	603
7.70 Thermodynamics	85617	2194	234	35	238	94	83	1377
1.104 Virology - General	83746	2776	312	1787	270	999	549	285
3.45 Soil Science	82725	2176	190	80	83	145	177	479
3.40 Forestry	82450	2069	316	417	67	921	342	298
1.14 Nursing	80250	1364	187	3537	107	552	1098	65
1.54 Molecular & Cell Biology - Genetics	79346	3781	679	2955	1498	856	1170	622
5.9 Particles & Fields	77473	6708	2698	1402	2015	1870	1720	1911
1.25 Molecular & Cell Biology - Cancer, Autophagy & Apoptosis	76770	4133	394	1848	439	392	451	299
2.76 2D Materials	76228	4854	538	309	618	239	305	1267
4.61 Artificial Intelligence & Machine Learning	75818	1679	136	102	219	121	127	435
1.21 Psychiatry	74488	1826	198	2701	87	781	757	51
6.115 Sustainability Science	74024	2150	353	287	327	409	212	1288
1.196 Micro & Long Noncoding RNA	74010	1828	202	884	142	169	247	196
6.24 Psychiatry & Psychology	73850	705	90	1831	44	465	555	27
1.34 Orthopedics	73526	4208	187	1615	61	657	610	112
7.63 Mechanics	71758	1913	321	103	251	184	84	642
1.52 Neurodegenerative Diseases	71427	4053	357	2301	365	709	607	127
7.57 Modelling & Simulation	71023	2481	259	216	350	343	458	1136

(326分野中上位40分野まで表示) 横棒の長さ: 論文数 (各大学内での相対値)

Clarivate Analytics社のInCitesを使用 (データ取得日2022/9/18)

文献タイプ: Article, Book, Book Chapter, Proceeding Paper, Review, 2017-2021の5年間

UTokyo Compass  
多様な学術の振興



# 多様な「知」×研究力強化 2つのWPI

国際高等研究所のもとに2つの世界トップレベル研究拠点を位置づけ



## カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)

2007年10月発足。数学、物理、天文の連携により宇宙の起源と進化の解明を目指す融合研究拠点。2012年に米国カブリ財団による寄附を受けKavli IPMUとなる。



## ニューロインテリジェンス 国際研究機構 (IRCIN)

2017年10月発足。生命科学、医学、社会、数理、情報科学の融合による“neurointelligence”を創成し、「人の知性はどのようにして生じるか」という究極の問いに迫る。

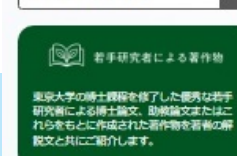
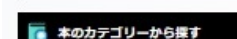
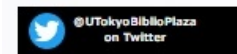
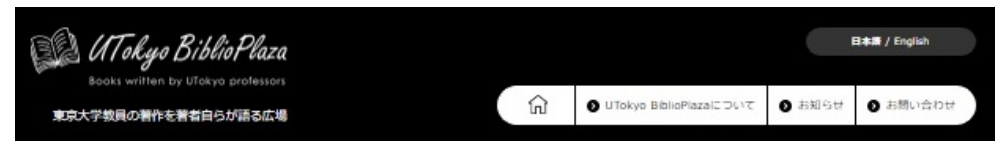
[写真(上下)の出典] <http://www.utias.u-tokyo.ac.jp/>

**UTokyo Compass**  
国際的に卓越した研究拠点の強化



# 多様な「知」×研究力強化 人文・社会科学系の発信「UTokyo BiblioPlaza」

- 本学の人文社会科学分野の国際的プレゼンス向上を目的として、当該分野の研究教育の多様性と卓越性を示す成果としての教員の著作物の可視化・発信を行う「UTokyo BiblioPlaza」を開設
- 2021年度末までに累計1,155冊の著作物に関する日・英紹介文を掲載
- 学内の学術成果刊行助成制度と連携した「若手研究者による著作物」コーナーをサイトに設置
- グランドオープンした総合図書館3階ホールに紹介著作物を展示した本棚「UTokyo Faculty Works」を設置



2022年9月13日現在登録されている書籍は1275件です。



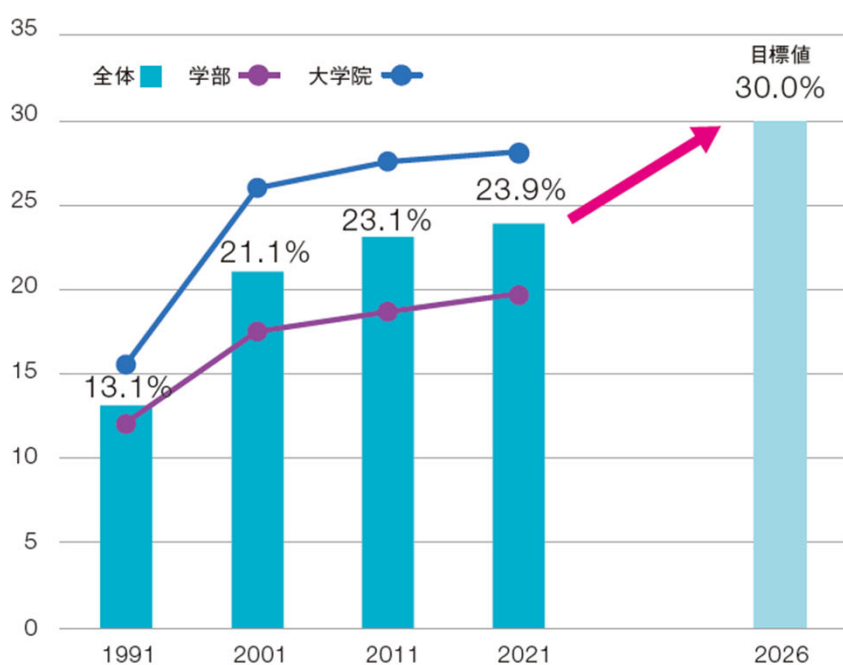
**UTokyo Compass**  
地球上の地域・言語圏の多様性に  
留意した人文・社会科学の振興

[出典] <https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/index.html>

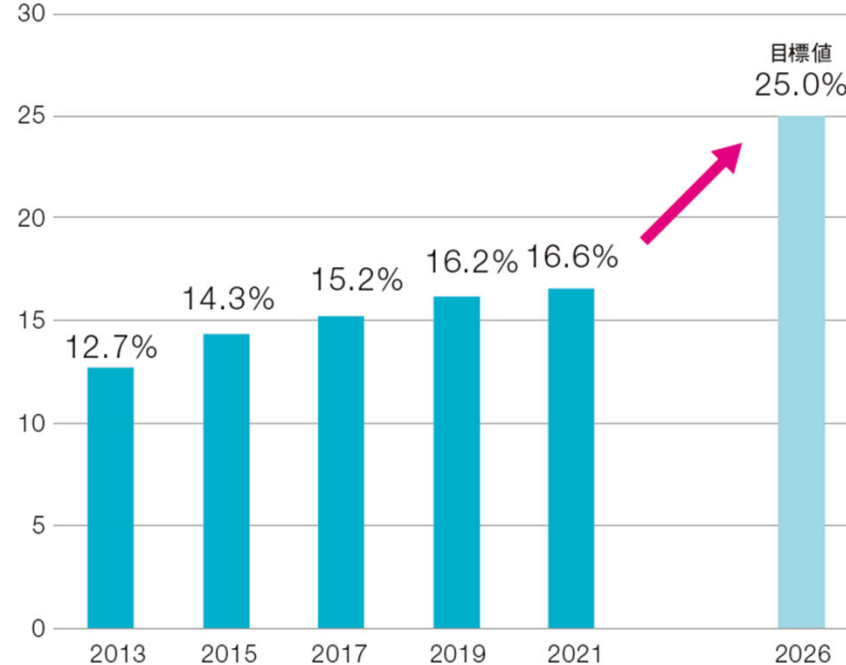
# 多様な「人」×研究力強化 ダイバーシティ & インクルージョン

『東京大学ダイバーシティ & インクルージョン宣言』を制定（2022年6月）  
 学術における卓越を達成し、知のイノベーションを生み出し、グローバルに活躍する人材を輩出するためには、ダイバーシティとインクルージョンの推進が重要との認識に立ち策定

(%) 学部・大学院の正規課程学生における女子学生比率



(%) 教員（特任教員を含む）における女性比率



【出典】東京大学統合報告書2021 IR Cubed  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400175829.pdf>

UTokyo Compass

新たな知の創出を促す研究者の多様性  
 ジェンダー平等に配慮した働きやすい環境

# 多様な「人」×研究力強化 ダイバーシティ & インクルージョン

- 2022年3月から「UTokyo D&I キャンペーン2022」を実施
- ウェブサイトにD&Iの特設ページを設置  
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/actions/diversity-inclusion.html>  
 D&Iに関連した研究者紹介  
 教員インタビュー  
 全学からのアクションとメッセージ  
 賛同者のメッセージ 等を掲載
- 従来からの取組  
 女性教員スタートアップ研究費支援  
 女性研究者研究スキルアップ支援  
 リスタートアップ研究支援  
 研究者サポート要員配置助成 等

**UTokyo Diversity & Inclusion**  
 東京大学のD&I  
 推進アクションの数々

全学から寄せられたアクションのごく一部を紹介。  
 詳細はこちらから→<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/actions/diversity-inclusion.html>

各取組の概要:

- 機械翻訳による事務文書の多言語化を支援 (情報基盤センター)
- 女性特任研究員を支援する制度を実施 (先端領域創成科学研究科)
- 10の言語によるウェブサイト発信 (人文社会系研究科)
- ユニバーサルトイレやパウダールームを設置 (生産技術研究所)
- 車椅子の学生の分子細胞生物学研究を支援 (医学系研究科)
- 在宅勤務を通じた障害者雇用を推進 (経済学研究科)
- 働き方改革アクションプランを公表 (工学系研究科)
- 医学のダイバーシティ教育研究センターを設置 (医学系研究科)
- SaferSpace (KYOSS)とオールジェンダートイレを開設 (教育学研究科)
- 病児ベビーシッター(派遣型病児保育)制度を実施 (医学部附属病院)
- 物性科学のD&Iを考えるWomen's Weekを開催 (物性研究所)
- 越境する学びをテーマにした多様な卒業生との議論 (情報学環)
- 週15分からの超短時間雇用モデルを開発 (先端科学技術研究センター)
- 社会人向けインクルーシブデザインスクールを設置 (先端科学技術研究センター)
- ヨガピラティスのオンラインエクササイズを実施 (相談支援研究開発センター)
- 駒場SaferSpace (KOSS)の活動が進展 (総合文化研究科)
- アンコンシャスバイアストレーニングを実施 (未来ビジョン研究センター)
- 留学生に日本を知ってもらう見学旅行を実施 (農学生命科学研究科)
- 国際女性デーのシリーズイベントを実施 (東京カレッジ)
- 紙の読書が困難な人に資料電子化サービスを提供 (附属図書館)

# 多様な「人」×研究力強化 若手研究者の育成

## 「東京大学卓越研究員」

卓越した若手研究者として自立して研究に取り組む環境を整えるためのスタートアップ経費を支援

- 推薦型 (2016年度～) : 累計129名を採択
- 公募型 (2018年度～) : 累計応募件数1,231件に対し33名を採択

## 「若手研究者の国際展開事業」

若手研究者の国際的なネットワーク形成の促進を目的として、海外での研鑽機会に係る経費を支援 (2017年度～)

COVID-19の状況に鑑み「若手研究者のオンライン国際展開支援事業」を整備 (2020年7月)

## UTokyo Compass

優秀な若手研究者の獲得

若手研究者の研究支援・キャリア支援

若手研究者の国際展開力の養成



行つてらっしゃい。

東京大学が若手教員の海外派遣を支援します。  
博士学位取得後15年以内の本学大学教員を主な対象 ※詳しくは公募要領を確認してください。









<b>【短期派遣】</b> 1～2月以内 若手研究者国際発信事業 □派遣費支援 目的: 学会発表・セミナー発表 等 1回目1名、2回目1名、3回目1名	<b>【中期派遣】</b> 1～2月を超え最長3ヶ月間 若手研究者国際研鑽事業 □派遣費支援・帰途費支援 目的: 共同研究の実施 等 1回目1名、2回目1名、3回目1名	<b>【長期派遣】</b> 1年を超え最長2年間 若手研究者国際基盤形成事業 □派遣費支援 □帰途費支援 □帰途費・帰途費支援 目的: 共同研究の実施 等 1回目1名、2回目1名、3回目1名
---	--	---

[出典] <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400113508.pdf>



# 多様な「人」×研究力強化 研究者の魅力を伝える「UTokyo Voices」

広報戦略に基づき、本学の多様で卓越した「人」を伝える特集記事「UTokyo Voices」を日英で発信（累計100名）

 <p><b>100</b> UTOKYO VOICES Makoto Gonokami President</p> <p>ないものは、作る。量子物理における数十年の予言の検証へ。  UTOKYO VOICES 100</p> <p>2021年3月3日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>	 <p><b>099</b> UTOKYO VOICES Kenjiro Taura Professor</p> <p>分散コンピュータの性能を最大限に引き出すソフトウェアを開発。  UTOKYO VOICES 099</p> <p>2021年2月24日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>	 <p><b>098</b> UTOKYO VOICES Tomoko Masuya Professor</p> <p>定説を疑え。イスラム美術をひも解き、新たな事実を発見。  UTOKYO VOICES 098</p> <p>2021年2月17日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>	 <p><b>097</b> UTOKYO VOICES Yuichiro Mizumachi Professor</p> <p>理論を現実に。研究を社会に還元し「同一労働同一賃金」を提言。  UTOKYO VOICES 097</p> <p>2021年2月10日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>
 <p><b>096</b> UTOKYO VOICES Shinichiro Kumagaya Associate Professor</p> <p>困りごとを抱えている当事者自身が専門家となり、問題を解消する。  UTOKYO VOICES 096</p> <p>2021年2月3日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>	 <p><b>095</b> UTOKYO VOICES Izuru Makihara Professor</p> <p>行政システムの透視図を描き出し、見えてきたものを社会に伝えたい。  UTOKYO VOICES 095</p> <p>2020年8月6日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>	 <p><b>094</b> UTOKYO VOICES Chiyuki Aoi Professor</p> <p>世界を見渡し、日本を見つめる「戦略的コミュニケーション」の研究者。  UTOKYO VOICES 094</p> <p>2020年7月30日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>	 <p><b>093</b> UTOKYO VOICES Makoto Naruse Professor</p> <p>光は「道具」ではなく「素材」。分野を絡み合わせた研究が新たな可能性を拓く。  UTOKYO VOICES 093</p> <p>2020年7月16日</p> <p>UTOKYO VOICES</p>

[出典] <https://www.u-tokyo.ac.jp/focus/ja/tags/?tag=UTOKYO+VOICES>

**UTokyo Compass**  
大学が果たす役割についての  
支持と共感の増進

# 多様な「場」×研究力強化 国際的な場の広がり

[東京大学海外拠点リスト]

[https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/intl-activities/overseas-offices/list\\_of\\_overseas\\_offices.html](https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/intl-activities/overseas-offices/list_of_overseas_offices.html)



生産技術研究所  
SMMIL-E

[図の出典] <http://www.ircl.org/programme-smmil-e/>



医科学研究所中国拠点  
日中連携研究室



ニューヨーク  
オフィス

[写真の出典] <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400175829.pdf>



宇宙線研究所  
カナリア高エネルギー  
宇宙物理観測研究施設

[写真の出典] <http://www.cta-observatory.jp/>

理学系研究科  
アタカマ天文台(TAO)

UTokyo Compass

国際連携研究拠点の構築・強化  
共同利用・共同研究拠点



# 多様な「場」×研究力強化 社会への場の広がり

## 先端研究領域における産学協創

**GXやDXに資する先端戦略分野**（量子、人工知能、脳型コンピュータ、半導体、通信インフラ、金融、数理、都市計画、医療、生命科学、材料等）、さらにこれらの研究領域における文理融合による部局横断的な産学協創を推進



IBM商用型  
量子コンピュータ  
IBM Quantum  
System One -  
Kawasaki

## スタートアップ エコシステムの構築

- 知識集約・循環型社会の実現を目指し、スタートアップエコシステムを構築
- 東大関連スタートアップの成長を加速し、大企業のイノベーション創出を促進するため、両者の交流・協業を活性化する**会員制プログラム（uTIEメンバーシップ）を開始**

## UTokyo Compass

産学協創による価値創造  
社会への場の広がり



# 多様な「専門人材」×研究力強化 東京大学のURA制度

## 東京大学リサーチ・アドミニストレーター制度に関する実施方針

(平成28年役員会議決)

### (URAの定義)

第1条 本学において、URAとは、総合大学である本学の学術研究に係る諸活動を幅広く推進し、学術研究を安定的かつ継続的に進展させることを目的として、高度な専門性を持って、次の各号に定める業務を主体的に行う能力を有する者である。

- ① 本学の学術研究に関わる調査・分析並びに企画立案業務
- ② 研究資金獲得に向けた調査、企画立案、内外折衝、申請等の業務
- ③ 研究資金獲得後の研究に関わる管理運営、評価、内外折衝、報告等の業務
- ④ その他前各号の業務に関連する業務

優れたURAの  
育成・確保に向け  
研修を実施

### URA認定制度

能力・経験・適性等に応じた  
3つの区分  
—URA・シニアURA・  
プリンシパルURA—

高度専門職人材に  
係る雇用制度  
(高度学術専門(職)員)



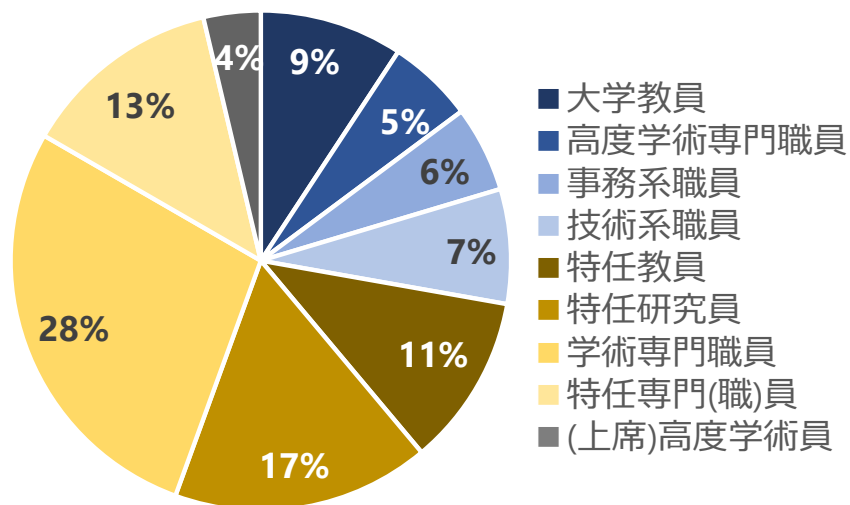
# 多様な「専門人材」×研究力強化 東京大学の認定URA

## 多様な職種構成

## 認定URAの職名分布

## 多様な学術的背景

## 博士号取得者 25/54名



結晶工学、レーザ工学、物質科学、固体物理、量子ビーム（放射光、中性子、ミュオン）、分子生物学、微生物学、計量形態学、生物学、知的財産法、高等教育論、研究倫理、利益相反管理、研究倫理、知的財産、産学連携、バイオ、物理化学、電子材料、分子生物学、生化学、化学工学、有機化学、材料、超臨界流体、情報システム学、システムエンジニアリング学、サービスサイエンス、超分子化学、錯体化学、日本古代史、古代東アジア史、情報歴史学、物性物理学、ナノテクノロジー、材料科学、大学行政、高分子（生体適合性材料）、情報通信ネットワーク、オペレーションズ、リサーチ、産学連携、サイエンスコミュニケーション、人間科学、生物学、インド仏教教理基礎学（アビダルマ）、俱舎学史、近代仏教学史、生体工学、建築学、生物工学、プロセス工学、ソフトマター物理学、計算機物理学、バイオマテリアル、ハイドロゲル、ベトナム考古学、工学、新領域創成科学、物性物理学、国際開発、災害情報論、社会心理学、細胞生物学、植物科学、錯体化学、有機半導体デバイス、分子生物学、伝統文化の近代化、農村女性のエンパワーメント、科学教育、科学コミュニケーション、博物館教育、社会調査、データアーカイブ、固体地球物理学、地震学、古生物学、（サイエンスコミュニケーション、理数教育支援）、分子生物学、発生生物学、幹細胞生物学、知的財産法、農業土木、栄養学、食品機能化学、分子生物学、遺伝学、細胞生理学、都市計画、まちづくり、素粒子、宇宙物理、自然地理学、産学連携

## 多様な所属

## 認定URAの学内分布

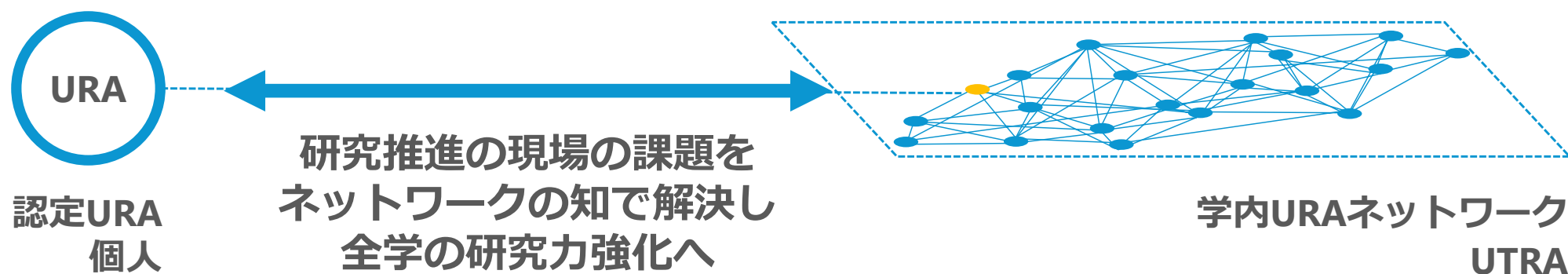
## ■プリンシパルURA、■シニアURA、■URA

リサーチ・アドミニストレーター推進室	■ ■ ■ ■	農学生命科学研究科	■ ■ ■	史料編纂所	■
産学協創推進本部	■ ■	経済学研究科	■	定量生命科学研究所	■ ■
本部事務組織	■	数理科学研究科	■	宇宙線研究所	■
医学系研究科	■ ■ ■ ■	新領域創成科学研究科	■ ■ ■ ■	物性研究所	■ ■
医学部附属病院	■	医科学研究所	■ ■ ■	大気海洋研究所	■
工学系研究科	■ ■ ■ ■	地震研究所	■ ■	先端科学技術研究センター	■ ■ ■
人文社会系研究科	■	東洋文化研究所	■	未来ビジョン研究センター	■ ■
理学系研究科	■ ■ ■	社会科学研究所	■ ■	高齢社会総合研究機構	■
		生産技術研究所	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		

※プリンシパルURA 3名は  
エフォート管理で本部・部局の両方に所属

# 多様な「専門人材」×研究力強化 認定URAのネットワーク

- 認定によって互いの存在が可視化され、ネットワークでつながる
- 毎年の認定や転出によって変化し続ける（2016年度15名 ⇒ 2022年度54名）
- 「URAに認定された人達」が学内に分散して存在 ⇒ 認定後が重要
- 本部URAをハブとして、ネットワークでの取組を継続



UTRAネットワークは  
「弱い紐帯の強み」である。  
(学内向けURAシンポジウムでの執行役・副学長のコメント)

UTokyo Compass  
研究基盤の強化  
研究に専念できる環境の整備

多様な人々が集い、対話し、  
新たな学知を生み出す。



# UTokyo Compassの軸：対話

知るために  
問う

“私は、実現のプロセスにおいて、また創造の方法において、「対話」を重視します。”

— 「UTokyo Compass」の公表にあたって <https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/utokyo-compass.html>

問いを  
共有する

## 学内における「対話」の実践

藤井総長と学内構成員が  
オンラインで意見交換を行う「総長対話」を実施

- UTokyo Compassの構想説明（全18回）
- ウィズコロナ、ポストコロナにおける大学のあり方
- 東京大学のD&Iについて 等
- . . . テーマ別総長対話が継続して進展

ともに問うカ

理解と信頼へ

「東京大学のD&Iについて」の回では藤井輝夫総長、林香里理事・副学長、D&I宣言WG座長の高野明教授が登壇。武田執行役・副学長が司会を務めた。

【出典】学内広報No.1559

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400191318.pdf>



多声の協奏





# 対話から地球規模課題の解決へ 東京カレッジ



**UTokyo Compass**  
国際的に卓越した  
研究拠点の強化

本学と海外の研究者や研究機関を結ぶ  
インターフェイスとして設立（2019年）  
Kavli IPMU、IRCNと同じ「国際高等研究所」に  
位置付け

- 中心理念「発見の喜び、知の力の共有」
- 追求課題「2050年の地球と人類社会」
- 4つのミッション
  1. 卓越研究者招聘
  2. 若手研究者育成
  3. 共同研究
  4. 知の共有

オンラインを活用して国内外の研究者を招聘し、  
学生や一般市民向けの講演会やシンポジウムを年50回程度開催

テーマ例

- コロナ危機後の社会
- 人文社会科学の未来
- 海外パートナー大学との対話
- グローバルヒストリー



# 対話から地球規模課題の解決へ グローバル・コモンズ・センター



[写真の出典] <https://cgc.ifi.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2022/05/Safeguarding-the-Global-Commons.pdf>

**UTokyo Compass**  
地球システムの  
責任ある管理

「大学は、**人類が直面する挑戦への根本的な解決策を探求**するために、アカデミアの境界を超えた幅広い分野のリーダー達との協創を通じ、**社会変革を駆動する主導的な役割**を果たすべき」というビジョンを実現する組織としてグローバル・コモンズ・センターを設置（2020年）

- 人類の共有資産であるグローバル・コモンズの責任ある管理の実現に向けた戦略的枠組みとして、グローバルパートナーらと共に「グローバル・コモンズ・スチュワードシップ・フレームワーク」を開発し、2022年5月に開催された世界経済フォーラムのダボス会議において公表
- 2021年に公表した「グローバル・コモンズ・スチュワードシップ指標」や、統合評価モデルを用いたシナリオ研究を含めた統合的アプローチにより、鍵となる社会・経済システムの転換を駆動

# 対話から地球規模課題の解決へ グリーントランスフォーメーション

## 組織としての取組

国連気候変動枠組み条約事務局が展開する、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを達成するための行動を呼びかける国際キャンペーン「Race to Zero」に参加 (2021年10月)

## 大学院教育

次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)のもと  
GXを先導する  
高度人材育成  
を目指す



[出典] [https://www.cis-trans.jp/spring\\_gx/](https://www.cis-trans.jp/spring_gx/)

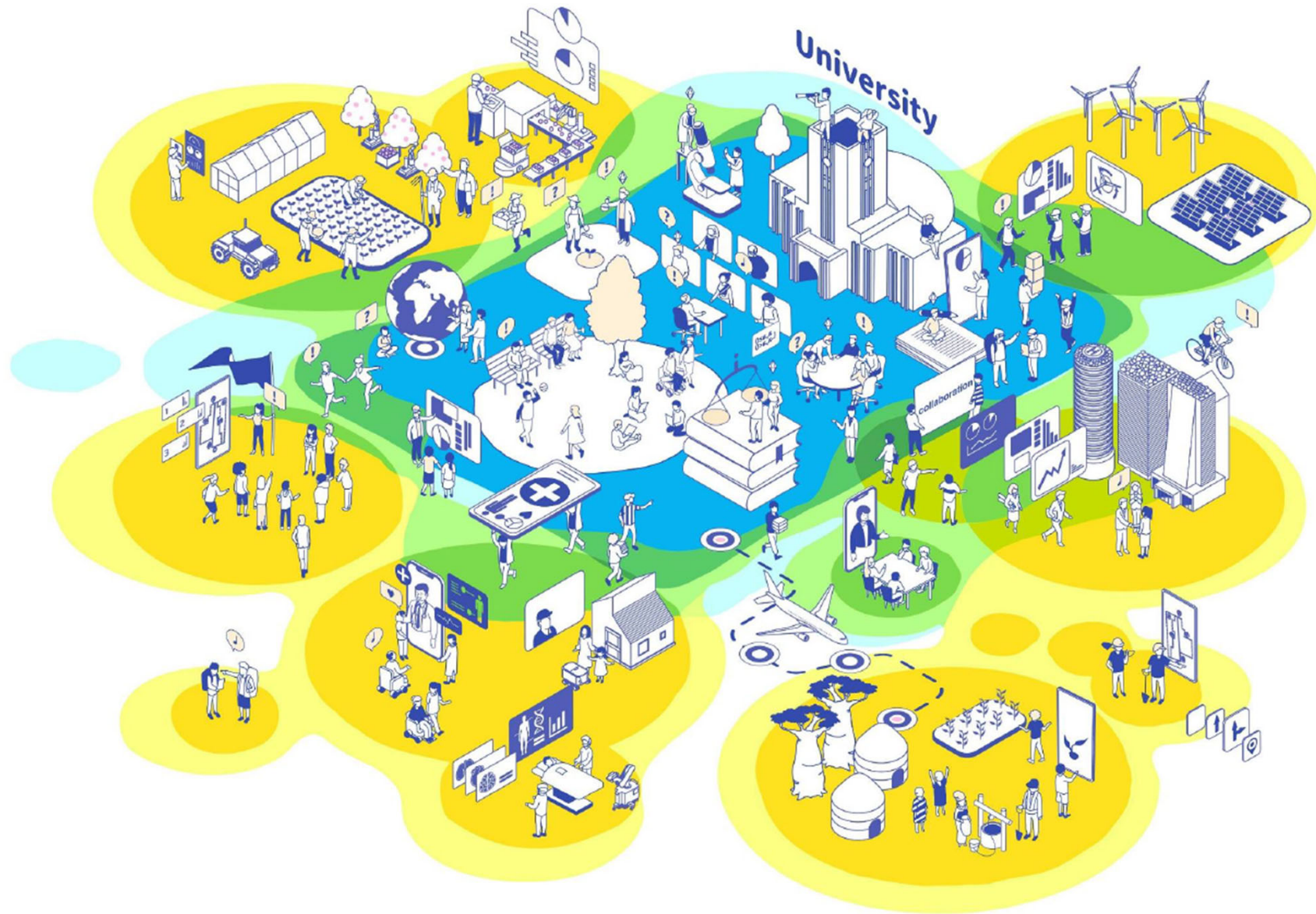
## 産学連携プラットフォーム

今世紀半ばまでに脱炭素を実現する日本のパスウェイについて議論するため、企業体とともに産学連携プラットフォームETI-CGC (Energy Transition Initiative – Center for Global Commons) を設立 (2021年11月)

## UTokyo Compass

地球システムの責任ある管理  
事業体としての東京大学の脱炭素の達成  
GXに資する地域との協創





多様性に開かれた対話を通じてあるべき未来像を社会とともに創り上げる